

第15 社会福祉法人 酒田市社会福祉協議会

令和8年度 酒田市社会福祉協議会事業計画（概要）

1 地域福祉の現状と課題

- * 地域社会を取り巻く環境は、少子・高齢化、人口減少の急激な進行、家族機能の変化、価値観の多様化、ICT通信機器の普及など社会環境が著しく変化しました。それに伴い、地域における住民同士の交流形態も大きく変わり、地域住民相互のつながりが希薄化してきています。このような中で、地域社会においては、様々な困りごとや暮らしにくさを抱える人々が増えています。
- * これまで、高齢社会の進行による地域福祉の担い手不足や一人暮らし高齢者の見守り活動、買い物・通院・除雪などの高齢者の日常生活の支援に関する課題が注目されてきましたが、これらに加え、例えば、ひきこもり、孤独・孤立死、自殺、生活困窮者の増加、子ども、高齢者、障がい者等への虐待、権利擁護、ダブルケア、8050問題、ヤングケアラーなど、多くの課題が顕在化しています。いずれも地域社会からの孤立が背景となっており、複雑化、多様化することで、さらに課題が深刻化し、公的な支援、縦割りによる個々の支援だけでは対応が困難となってきています。
- * 近年、全国的に大規模災害が発生し人々の日常生活を脅かしています。本市においても令和6年7月に大雨災害が発生したことから、災害ボランティアセンターを立ち上げ、被災住宅等の復旧に向けた支援を行い、その後、被災者生活支援・地域支え合いセンターを設置しました。
- * 地域社会を取り巻く状況が激しく変化する中、すべての人が住み慣れた地域で安心して生活していくためには、地域住民をはじめ、あらゆる関係者、組織・団体が「我が事」として主体的に参画することが大切です。誰もが役割を持ち、活躍できる「地域共生社会（ともに生きる豊かな地域社会）」の実現を目指し、地域生活課題の解決に向けた支援体制を整備することが必要です。

2 社会福祉協議会の基本方針

- ① 地域住民を主体とした「ともに生きる豊かな地域社会」の実現
- ② 誰もが人格と個性が尊重され、その人らしい生活を送ることができる福祉サービスの提供
- ③ 地域住民及び福祉組織・関係者の協働による包括的な支援体制の構築
- ④ 地域生活課題に基づく、先駆的・開拓的サービス・活動の創出
- ⑤ 持続可能で責任ある自律した組織経営

市社協では、令和4（2022）年度から令和8（2026）年度までの5年間を計画期間とする第4期地域福祉活動計画（市社協「つなげる」アクションプラン）を策定しました。この活動計画に基づいて、単年度ごとの事業計画を作成し、具体的取組みについて、地域の皆様、関係機関・団体、行政と連携、協働して進めていきます。

3 令和8年度の実施的な施策

I 共に支え合い、地域が「つながる」まち

推進施策1 地域で支え合うしくみづくり

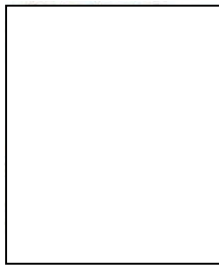
- ①学区・地区社協の活動を支援するため、学区・地区社協合同研修会において、見守りネットワーク支援事業や福祉協力員活動などの研修を行うとともに、ふれあい給食指導者講習会を実施します。
- ②新・草の根事業については、地域住民の自主的な思いや気づきに柔軟に対応することができるようメニュー・内容について検討します。なお、昨今の物価高騰を踏まえ、ふれあい給食の単価の見直しを、令和6・7年度に続き実施します。
- ③地域支え合い活動推進事業や市まちづくり推進課が進める地域計画（ビジョン）策定などの話し合いの場づくりに地区担当職員が参加し、地域での話し合いや取り組みに対し支援します。
- ④市高齢者支援課、地域包括支援センター・生活支援コーディネーターと進める高齢者の社会参加や生きがいつくりの取り組みと連携します。

推進施策2 地域福祉の拠点づくり

- ①ボラポートさかたの運営を市から受託、市交流ひろばに事務局を置き、市民や公益活動団体、企業等、様々な方からのボランティア・公益活動に関する相談を受け、活動のコーディネートを行うとともに、研修会、講座を開催します。あわせて、企業等のCSR活動などの取り組みを支援します。
- ②受託事業として、手話奉仕員育成事業、福祉の担い手育成事業（高齢・障がい体験事業）、介護予防等を目的とした元気シニアボランティア事業、障がい者の社会参加促進を目的とした「障がい者アート展」を市等から受託し、ボランティア活動の人材育成や福祉教育の推進に取り組みます。
- ③ボランティア・公益活動に関する情報については、「ボラポートさかた通信」やホームページ、登録者へのメール一斉送信、SNS等、様々な媒体を活用し、ボラポートさかたを知ってもらうための発信、興味を持ってもらうための工夫に努めます。
- ④地域福祉推進のための貴重な財源である赤い羽根共同募金については、募金寄付者への説明、成果報告等を行い、広く理解を得るよう努めます。
- ⑤赤い羽根共同募金の助成が、地域の福祉活動、ボランティアや公益活動に、より効果的に活用できるよう、助成基準の策定を引き続き検討します。

推進施策3 災害等に備えた支援体制の構築

- ①【新規】見守りネットワーク支援台帳は、令和8年度より市が改定した「個別避難計画」（旧災害時要援護者台帳）と同一様式で統一運用するため、利活用に向けた周知等に努めます。
- ②災害ボランティアセンター（災害VC）を設置した経験をもとに、災害VC設置運営マニュアルが生きたものとなるよう引き続き点検、見直しを行います。
- ③災害VC設置・運営訓練は、酒田青年会議所、ライオンズクラブ、行政等に協力を求め、より実践的な訓練を行います。地域福祉センターで定期的実施するほか、要請がある場合は、市の防災訓練にも参加します。
- ④日赤県支部による講習会開催や自治会等の災害訓練、避難所訓練に対し、資機材を貸出するなどの取り組みを通して、赤十字活動の普及啓発を行います。



⑤被災地での支援活動については、災害被災地での支援活動を希望する個人、団体に対し、市社協がボランティアバスを運行するなどの支援や情報提供を行います。また、山形県社協の要請を受けて、被災地の災害V Cに職員を派遣します。

⑥東日本大震災避難者支援については、引き続き避難者生活支援相談員が避難者世帯の訪問活動や情報提供など避難者に寄り添った相談支援を行います。

⑦被災者生活支援・地域支え合いセンターについては引き続き被災者への戸別訪問を行い、日常生活や生活再建に関する困り事を伺うとともに、必要に応じて支援制度などの情報提供や行政、関係支援機関へのつなぎ等を行います。また、ふるさとカフェを開催し、孤立防止や地域コミュニティ機能の維持に努めます。

Ⅱ 誰もが安心できる、福祉が「つながる」まち

推進施策4 地域で安心して生活するための支援

①市社協相談部門は、地域福祉を推進する立場から、また、多様な専門職を有する強みを生かし、困難事例、複雑化・多様化する課題、制度の狭間の問題や本市特有の離島支援に関する課題などに対し、関係機関・団体などと協働して、相談・支援を実施します。また、市社協内の定期会議などを通して、部門間連携を強化します。

②市が今後本格実施を予定する重層的支援体制整備事業の準備事業である多機関協働事業、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業（※1）参加支援事業（※2）を受託します。

（※1 ひきこもり状態等にあるため支援が必要であるにもかかわらず届いていない人に対し、行政や支援機関が訪問等の働きかけをして支援を届けること）（※2 既存の社会参加に向けた事業では対応できない方の社会とのつながりを作るため、社会資源を活用した就労支援や社会参加へのマッチング・新たなメニュー作成を行う事業）

③子育て支援については、地域子育て応援団などの子どもの居場所づくりを実施している団体または新規に事業を開始しようとしている団体に対し、運営費などの経費の一部を助成し、地域で子どもを見守り育てる環境づくりを支援します。

④子ども食堂、子育て応援団活動に関する相談、情報提供を行います。

推進施策5 生活の困りごと抱える人への支援

①「生活自立支援センターさかた」では、生活に困っている当事者やその家族、関係者からの相談に応じます。相談者の状況や課題の把握に努め、課題解決のための方法を相談者と一緒に検討し、必要なサービスへのつなぎ、同行、情報提供など、自立に向けた支援を行います。

②支援にあたっては、関係機関・関係者と情報共有し、連携しながら進めます。また、相談者の課題解決のため、本人と一緒に支援プランを策定し、関係機関による支援調整会議で協議しながら、適正な支援を行います。

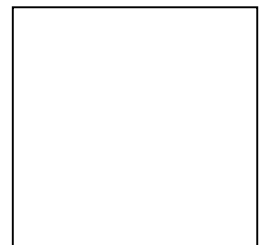
③相談支援は、国の各種制度によるもののほか、市社協で独自に実施しているたすけあい資金やフードバンク事業などを活用しながら行います。

④生活福祉資金については、山形県社協や民生委員・児童委員などの関係機関、関係者と連携しながら適正に業務を進めます。

⑤たすけあい資金について、「たすけあい資金相談所運営要綱」に基づき、生活保護被保護世帯や生活困窮世帯に対し、応急的な生活資金の貸付を行います。

⑥フードバンク事業では、協定を結んでいる事業者をはじめ、市内の多くの事業所等にご協力いただき、窮迫した状況の相談者に食料を提供します。

⑦コロナ禍に実施された特例貸付は、現在、償還が開始され、一定の条件を満たす方や償還が困難な方へは償還免除や猶予の手続きを行っています。市社協は、国や山形県社協の方針に沿い、適



正に業務を進めるとともに、利用者の状況確認や必要な方への相談支援を行います。

- ⑧障がい者の社会参加を推進するため、障害福祉サービス事業所が手作りのお弁当やお菓子を販売する「満福市にいだ」（会場：地域福祉センター）、「まちサロン」（会場：八幡交流ホール）、小規模作業所の商品販売会「満福市」（会場：松山健康福祉センター）の開催を支援します。
- ⑨ボラポートさかたで受託している手話奉仕員育成事業や障がい者アート展、市社協等で実施している障がい（児）者に対する居宅介護事業所の同行援護事業等を通して、障がい者の社会参加の促進を図ります。

推進施策 6 再犯防止の推進

- ①再犯防止のため、様々な課題を支援する保健、消費生活、司法、更生保護などの関係機関や団体が主催する相談会・研修会などについて、学区・地区社協への周知や情報提供に協力するとともに再犯防止に関する会議等への参加を通して、これらの機関・団体との連携を強化します。
- ②出所後などの社会復帰に関係機関と連携しながら、生活自立支援センターによる相談や権利擁護事業などを通して支援します。

推進施策 7 成年後見制度の利用促進

- ①福祉サービス利用援助事業では、(ア) 福祉や介護等の公的サービス、助け合いなどの私的サービスの利用手続き相談、つなぎ、(イ) 公共料金や生活費、サービス利用料等の日常的な金銭管理、(ウ) 預金通帳や土地権利書など重要書類の預かりなどを実施します。
- ②利用者一人ひとりの家庭状況、健康状態に合わせた支援計画を立て、それに基づき支援を行うとともに、金銭管理や税金等の滞納、借金などの複雑な課題を抱える困難ケースが増加しているため、市や地域包括支援センター等の関係機関と連携し、課題の解決に取り組みます。
- ③制度の利用が必要な人に届くよう周知活動に努めます。特に、地域住民の困りごとを把握し易い立場にある学区・地区社協の方々に対し、ふくし出前講座を通じた説明など、重点的にを行います。
- ④福祉サービス利用援助事業の利用者の判断能力の低下や財産管理等の課題がある場合は、成年後見制度の利用につなげ、市社協が成年後見を法人として担うことで、利用者が長期間、安心できる権利擁護を行います。
- ⑤【新規】権利擁護・成年後見センター（以下、「後見センター」という。）の適正な運営に努め、成年後見制度の利用等に関する相談に対し、専門的な助言を行います。市長が申立人となるケースについては、外部委員により構成する権利擁護支援検討会議を開催し、円滑な受任調整に努めます。また、後見センターが関わったケースについては、受任後に関係機関と情報共有し、役割分担について調整するとともに権利擁護支援チームの立ち上げや会議の開催を支援します。

制度に関する周知等を図るため、関係機関及び市民向けの研修会、ふくし出前講座を通じた説明などを行います。また、県が実施する市民後見人養成研修に多くの住民が参加できるよう周知を図り、参加テキスト代等を助成します。

Ⅲ ひと・こころを育て、未来に「つながる」まち

推進施策 8 福祉の心を育むまちづくり

- ①学校や地域での福祉教育の推進のため、福祉教育テーマ、プログラムの方向性については、その都度担当教員や協力団体などと事前の打ち合わせを行い、確認しながら進めます。
- ②ふくし出前講座や新・草の根事業の合同研修事業などを通して地域住民向け福祉教育を実施します。
- ③福祉教育推進員研修に職員が参加し、福祉教育に資する知識、技能の向上を図ります。
- ④「障がいをもつ人を理由とした差別の禁止」、「障がいの特性に応じた配慮」など、心のバリアフリーを進める活動の普及啓発に協力します。

推進施策 9 地域力向上にむけた人材育成

- ①市まちづくり推進課が進めている地域計画（ビジョン）の策定など地域づくりのための話し合いの場に地区担当職員が参加・協力し、その過程から、活動の実践者やリーダーの発掘に努めます。
- ②市社協が「酒田市社会福祉法人連絡会議」を主催し、「地域における公益的な取組」に関する情報交換、連携した取り組みの協議を継続します。
- ③地域住民や学校から申込を受け、集会、研修事業や授業等に法人職員を講師として派遣し、福祉や福祉教（共）育に関する講座を提供する「ふくし出前講座・ふくし共育出前講座」を市内社会福祉法人と連携・協働して、継続実施します。
- ④大学生（社会福祉士、インターンシップ等）や看護学生の実習の受け入れ、東北公益文科大学社会福祉士養成課程での講座担当などを通し、将来、地域で活躍できる人材育成に寄与します。
- ⑤職員が実習指導研修を受講するなど、社会福祉士実習受け入れの指導体制強化に努めます。

推進施策 10 健康づくりの推進

- ①学区・地区社協による地域交流サロン事業をはじめとする居場所づくりの開設や運営の相談、情報提供を行い、新・草の根事業補助金や赤い羽根共同募金の助成などによる財政支援を行います。

Ⅳ 介護及び障がい福祉サービス事業の推進

1. 事業共通

(1) サービスの向上

- ①利用者及び家族と十分に意思疎通を図り、信頼感・関係性をつくりながら、利用者一人ひとりの身体状況・生活状況にあった目標設定や自身でできることを尊重した支援計画の作成、見直し、評価を行っていきます。
- ②ICTシステムやAI技術を積極的に活用し、記録業務の省力化と利用者情報等の共有を進め、業務の改善・効率化により生み出された時間で利用者サービスの向上と充実を図ります。

(2) 職員の質の向上

職員の経験や能力、職責に応じた職場内外の研修、外部研修参加職員からの伝達研修等を通じて、職員のスキルアップを図り、専門性の高いサービスの提供を目指します。また、研修を通してハラスメントの防止、虐待の防止及びコンプライアンスの順守に対する職員の意識を高めます。

(3) 事故防止・災害対策

感染症の拡大や自然災害等の緊急事態の発生に際しては、「業務継続計画」を活用して、被害を最小限に抑えるとともに、事業の継続及び早期復旧を図ります。

(4) 地域共生

様々な機能、人材を有する社協の特性を十分に活かし、保健・医療・福祉サービス等の社会資源の活用、地域との連携を通して、地域包括ケアの推進に積極的に取り組みます。

(5) 収益の確保・経営改善

- ①介護サービス事業の収支が厳しくなっていることから、適正な人員配置と業務改善を進めて効率的なサービス提供を行うとともに、利用者の確保に努めて、収益の確保を図ります。
- ②経営上の課題を抽出・共有し、収益の確保に向けた取り組みを実行します。
- ③【新規】デイサービス事業をはじめ介護サービス事業の経営改善を進めるためのコンサルティング事業を委託し、職場環境の改善、職員の資質及びモチベーションの向上を図るとともに、先進的な取り組みなどを取り入れることで、介護サービス課全体に係る課題を解決します。
- ④国の処遇改善加算制度を活用した処遇改善手当（資格手当を含む）により介護職員等の処遇改善に努めるとともに、職員のモチベーションの向上に努めます。

2. 居宅介護支援事業

- ①介護保険の目的である「自立支援」に基づき、一人ひとり異なる自立を支えるための「自立支援型ケアプラン」の作成を行います。
- ②介護保険制度をはじめとする各種制度や社会資源を有効活用しつつ、利用者及び家族に寄り添った質の高いケアマネジメントを提供します。
- ③事業所内での事例検討会や他の居宅介護支援事業所との合同の事例検討会を実施し、いわゆる「支援困難事例」ケースにも対応できるよう能力の向上を図ります。

3. 特定相談支援事業、障がい児相談支援事業

- ①障がいがあるゆえに抱く悩み、相談に傾聴し、本人だけでなく、家族も含めて、寄り添い、権利擁護や生活自立支援センターと連携を図るなど、希望する自立した生活ができるようサービス利用計画の作成、サービス提供につなげます。
- ②障がい者の特性や強みに着目した支援ができるよう、関係会議での情報交換を始め、障がい者支援のための専門研修等に積極的に参加し、ケアマネジメント能力の向上を図ります。

4. 訪問介護事業、障がい児・者居宅介護事業

- ①利用者一人ひとりの身体状況・生活状況にあった目標や自身ができることを尊重した訪問介護計画の作成、サービス提供を行います。
- ②積極的に研修に参加し、職場内研修においても毎月行っているヘルパー研修などを通して、情報共有を行いながら質の向上に努めます。
- ③引き続き市から「子育て世帯訪問支援事業」を受託し、家事や育児に不安や負担を抱える子育て家庭等にヘルパーを派遣して、家事支援を行います。

5. 通所介護事業 ※デイサービスセンターいずみ

- ①(旧)デイサービスセンター松山との統合メリットを生かして、新たな加算を検討するとともに、利用者視点に立った運用の見直しなどを積極的に進めていきます。
- ②利用者の生活歴や能力等を踏まえた支援により、QOL(生活の質)の向上を図るとともに、デイサービスをより楽しんでもらえるよう利用者の興味や関心をもとに多様なプログラム（脳活トレーニング、体操、ゲーム、手工芸、おやつ作り、季節行事等のレクリエーション）を実施します。

- ③災害時に迅速かつ的確な対応ができるよう利用者の参加も得ながら、火災、地震及び水害などに対する避難訓練を実施し、職員の防災意識の徹底を図ります。
- ④職員間の連携をより強化して、業務の効率化とサービスの向上を図ります。
- ⑤新たな収益の確保を図るため、介護報酬の加算が見込めるサービス提供の検討を行います。

6. 地域包括支援事業 ※地域包括支援センターにいだ：浜田、若浜、飛島担当

- ①地域包括ケアシステム確立に向けて、社協の強みである各部署との連携のもとに、地域の総合相談窓口として、複雑化、多様化した課題を抱えるケースについても積極的に受け入れ、丁寧な支援を行います。
- ②身近な相談窓口として気軽に利用してもらえよう、地域のサロンなどの集まりに参加して、地域住民と顔の見える関係づくりに努めます。
- ③地域ケア会議、ブロック会議等を通して、自治会や民生委員・児童委員、福祉協力員等と信頼関係を深めながら、地域の課題等を話し合う機会を積極的に設けます。
- ④「包括にいだ便り」を年4回発行し、担当する地域に向けてセンターの業務内容やサロン活動の様子等の地域の情報、ちょっとした役に立つ情報などを、発信します。
- ⑤いきいき百歳体操等の通いの場を継続して支援するとともに、参加率の低い男性高齢者を主体とした新たな通いの場の創設を目指します。
- ⑥日常生活圏域は、市の再編統合により令和7年度から10圏域から7圏域に再編されました。第2圏域は、包括にいだと包括ひがしの圏域が統合し、新たに1つの生活圏域になりました。それぞれの包括支援センターが連携しながら支え合いの仕組みが継続できるよう事業展開に努めます。
- ⑦【新規】認知症の方やその家族が孤立せず地域で安心した生活を送ることができるよう、地域住民や専門職と共に認知症カフェや家族介護者教室を開催します。

V 顕彰、慰霊事業の実施

- ①地域福祉活動に尽力された方々、地域福祉の増進に積極的に協力・援助された方々等に表彰状、感謝状を贈呈し、感謝の意を表します。
- ②各遺族会からの協力をいただき、平和のつどい事業（酒田市戦没者追悼式）を開催します。

VI 適正な法人運営及び広報活動の推進

1. 適正な法人運営

法人運営の中心となる理事会、評議員会、専門部会等、適切・適時に開催します。

2. 持続可能な財政運営

- ①貴重な自主財源である社協会費及び共同募金、日赤会費については、引き続き理解と協力をいただけるよう市社協事業、地域福祉事業、赤十字活動のPR活動に努めます。
- ②国・県の助成制度、共同募金等民間財源を積極的に活用します。
- ③市等からの委託事業が増加しており、事業実施に向け財源及び人材の確保、育成、体制整備に努めます。

3. 広報活動の推進

- ①ホームページ、広報紙（会報「ふれあい」）、SNSの活用や自治会向けチラシを作成しながら、市社協の事業実施状況、財政状況等について、情報発信に努めます。
- ②ホームページ、広報紙、SNS以外にも、地域での研修会や出前講座を通して、福祉を取り巻く動向、課題、事業計画、活動状況等について、広くお知らせします。

4. 適正な施設管理と安全な福祉バス運行

- ①地域福祉センター等の適正な施設管理、福祉バス・日赤福祉バス等の安全な運行に努めました。
- ②市社協に寄贈された車椅子を貸出することで、急な怪我や病気等で車椅子を必要する方々の利便性を図ります（貸出は、八幡、松山、平田支部でも実施）。

5. 地域の特性を活かした支部地域福祉活動

八幡・松山・平田支部では、各地区社協の活動支援や関係福祉団体の活動支援を行うほか、地域特性等を活かした地域福祉活動などを展開していきます。

6. 【新規】第5期地域福祉活動計画の策定

令和8年度が第4期計画期間の最終年度となることから、市社協内にプロジェクトチームを組織し、第4期計画を評価し、第5期計画を策定します。なお、市が同時に策定する第5期酒田市地域福祉計画と一体的に策定します。

Ⅳ. 資料編（令和7年度事業実績）

1. 新・草の根事業実施状況

学区地区 社協	見守りネットワーク支援事業			合同研修事業		ふれあい給食事業		地域あんしん事業	地域交流サロン事業	
	ネットワーク 対象者数	福祉 隣組数	福祉 協力員数	回数	延人数	回数	延人数	回数	回数	延人数
琢成	208	147	17	2	124	6	410	28	159	2,229
浜田	71	58	27	3	191	6	464	28	100	2,025
若浜	36	21	15	2	71	8	395	24	152	1,086
富士見	47	32	10	2	79	6	334	24	130	1,497
亀ヶ崎	43	47	17	2	69	7	455	35	37	349
松原	90	73	16	2	142	7	216	244	20	549
港南	25	24	7	2	45	6	449	24	15	584
松陵	76	34	15	2	86	10	474	36	50	1,577
泉	42	40	9	2	85	9	136	24	80	2,192
宮野浦	27	19	12	2	35	8	465	24	217	4,011
飛島	19	3	3	1	13	4	99	24	18	349
西荒瀬	23	24	17	2	59	12	310	24	57	840
新堀	23	26	11	2	91	6	222	24	25	583
広野	25	28	13	2	59	6	102	24	51	813
浜中	13	12	9	2	35	2	64	24	10	181
黒森	23	1	7	2	46	2	74	24	13	1,003
十坂	38	30	10	2	56	4	92	24	144	1,700
東平田	39	25	4	3	51	6	60	24	56	529
中平田	20	7	8	2	52	6	73	24	17	303
北平田	18	5	14	2	90	6	81	24	18	230
上田	10	8	11	4	62	6	72	24	24	250
本楯	17	18	19	2	62	6	204	24	195	2,005
南遊佐	35	32	10	2	50	6	119	24	10	98
小計	968	714	281	49	1,653	145	5,370	803	1,598	24,983
一條	19	19	18	2	51	2	155	24	209	1,104
観音寺	29	29	26	2	100	6	264	24	137	1,466
大沢	17	13	9	2	84	3	174	24	12	212
日向	18	18	28	3	145	6	297	24	287	2,073
小計	83	79	81	9	380	17	890	96	645	4,855
南部	15	27	8	2	58	6	197	24	48	465
山寺	5	7	6	2	36	6	43	24	98	908
松嶺	26	47	14	2	63	6	148	24	14	128
内郷	20	27	13	2	44	7	111	24	12	475
小計	66	108	41	8	201	25	499	96	172	1,976
田沢	48	7	6	2	60	5	226	24	46	588
東陽	65	26	13	4	135	2	108	24	114	953
郡鏡・山谷	34	12	13	2	51	2	38	24	69	605
南平田	50	3	21	2	30	2	44	24	19	207
砂越・砂越緑町	59	39	3	2	62	2	82	24	94	1,005
小計	256	87	56	12	338	13	498	120	342	3,358
合計	1,373	988	459	78	2,572	200	7,257	1,115	2,757	35,172

2. 共同募金及び歳末たすけあい募金活動

(1) 共同募金収納実績 (単位: 円、%)

目 標 額	実 績 額	達 成 率	未達成額
12,351,000 円	10,957,557 円	88.7%	△1,393,443 円

(2) 歳末たすけあい募金収納実績 (単位: 円、%)

目 標 額	実 績 額	達 成 率	達成額超
5,018,000 円	5,105,223 円	101.74%	87,233 円

(3) 共同募金助成内訳

A助成 (山形県共同募金会で決定される、施設、団体への助成) 1,454,000 円

B助成 (社協への地域福祉活動助成) 4,299,890 円

C助成 (前年度歳末たすけあい募金による助成を実施した後の余剰金) 722,836 円

① A助成

社会福祉法人保育事業「福祉の心」(13 団体) 600,000 円 *小鳩保育園 *広野保育園 *北新橋保育園 *西荒瀬保育園 *新堀保育園 *黒森保育園 *若宮保育園 *宮野浦保育園 *浜中保育園 *泉保育園 *報恩会保育園 *北平田保育園
障がい者小規模作業所支援事業 (1 団体) 99,000 円 *特定非営利活動法人みつば
民間学童保育所支援事業 (5 団体) 500,000 円 *琢成学区学童保育所 *浜田学区学童保育所 *松原学区第1学童保育所 *松原学区第2学童保育所 *富士見学区学童保育所
子供の居場所確保支援事業 (3 団体) 255,000 円 *ちょうかい子育て応援団 *若浜学区社会福祉協議会 *みんなの居場所 古民家玉手箱

② B・C助成

福祉育成援助活動費 (9 団体及び市社協事業) 3,772,526 円 *酒田市自治会連合会 *NPO 法人がくほれん With 酒田 *酒田市民生委員・児童委員協議会連合会 *酒田市子どもまつり実行委員会 *酒田電気工事同組合 青年部 *酒田市八幡遺族会 *酒田市平田遺族会 *酒田市遺族会松山支部 *酒田飽海鍼灸マッサージ師会 *酒田市社会福祉協議会
高齢者福祉活動費 (4 団体) 256,500 円 *酒田市老人クラブ連合会酒田支部 *酒田市老人クラブ連合会八幡支部 *酒田市老人クラブ連合会松山支部 *酒田市老人クラブ連合会平田支部
児童・青少年福祉活動費 (13 団体) 370,500 円 *双葉協会 泉保育園 *北平田協会 北平田保育園 *酒田報恩会 若浜保育園 *酒田報恩会 報恩会保育園 *双葉協会 北新橋保育園 *南遊佐協会 鳥海保育園

* 西荒瀬協会 西荒瀬保育園 * 酒田保育協会 新堀保育園 * 酒田保育協会 黒森保育園 * 酒田保育協会 若宮保育園 * 酒田保育協会 浜中保育園 * 酒田保育協会 広野保育園 * 酒田保育協会 宮野浦保育園
障がい児（者）福祉活動費（11 団体）518,700 円 * NPO 法人酒田市障がい者福祉会 * 八幡身体障害者更生会 * 平田身体障害者福祉協会 * 酒田手をつなぐ育成会 * 八幡手をつなぐ育成会 * 松山・平田手をつなぐ育成会 * 社会福祉法人酒田市あすなろ福祉会 * NPO 法人支援センターふれあい工房 * 障がい福祉サービス事業所たぶの木 * NPO 法人 支援センターなのはな畑 * NPO 法人みらいず
母子・父子福祉活動費（1 団体）104,500 円 * 酒田市母子福祉ねむの木会

（４）歳末たすけあい募金助成内訳

①低所得世帯へとその児童への助成

（単位：世帯、人、円）

世帯人数	単価	世帯件数			
		酒田支部	八幡支部	松山支部	平田支部
1 人世帯	5,000	29	16	17	30
2 人世帯	7,000	79	5	4	9
3 人世帯	9,000	68	7	0	8
4 人以上	11,000	79	6	4	8
児童への 贈り物	2,000	306	12	25	18
助成額 合計		2,791 千円	268 千円	171 千円	409 千円
戸別募金額		200			

※助成金総額 3,639,000 円（前年度 4,253,000 円）

3. 赤十字活動

(1) 会費納入状況

年度	目 標 額	実 績 額	達 成 率
令和 7 年度	19,992,000 円	17,326,899 円	86.7%
令和 6 年度	20,250,000 円	17,557,519 円	86.7%

○会費納入実績内訳

一般社資		法人社資		計
会費	寄付金	会費	寄付金	
6,873,300 円	10,440,560 円	0 円	13,039 円	17,326,899 円
17,313,860 円		13,039 円		

*会費とは、日本赤十字社の会員（住所・氏名が明確な方）として納めていただく納付金のこと、日赤山形県支部では、年額 700 円以上と定めている。住所・氏名が明確でない場合、または、納付金が 700 円未満の場合は、寄付金扱いとしている。

○支部別実績及び交付金

支部名		酒田支部	八幡支部	松山支部	平田支部	計
実績額		14,366,499 円	1,064,000 円	760,900 円	1,135,500 円	17,326,899 円
件数	会費扱い	6,300 件	1,520 件	1 件	1,623 件	9,444 件
	寄附扱い	148 件	0 件	1,086 件	0 件	1,234 件
	計	6,448 件	1,520 件	1,087 件	1,623 件	10,678 件
交付金		1,436,648 円	106,400 円	76,090 円	113,550 円	1,732,688 円

(2) 災害救援事業（被災状況及び見舞金、救援物資の交付状況）

区 分	件数 (件)	被災者 (人)	見舞金額 (円)	救援物資		
				毛布	緊急セット	学用品
全 焼	1	2	40,000	0	0	0
半 焼	0	0	0	0	0	0
部分焼	0	0	0	0	0	0
ぼ や	0	0	0	0	0	0
災害死亡者弔慰金		0 人	0 円			

(3) 義援金の受付(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日まで) 総額 357,272 円

【内訳】

- ・ 令和 6 年能登半島地震災害義援金 (66,238 円)
- ・ 令和 6 年 9 月能登半島大雨災害義援金 (17,504 円)
- ・ 令和 7 年大船渡市赤崎町林野火災義援金 (62,479 円)
- ・ 令和 7 年台風 8 号に伴う災害義援金 (36,274 円)
- ・ 令和 7 年 6 月 6 日からの大雨災害義援金 (52,745 円)
- ・ 令和 7 年 11 月 18 日大分市佐賀関の大規模火災義援金 (35,730 円)
- ・ 令和 7 年青森県東方沖地震義援金 (20,000 円)
- ・ 2025 年ミャンマー地震救援金 (13,411 円)

- ・ウクライナ人道危機救援金 (40,977 円)
- ・その他 5 件 (11,914 円)

(4) 各種団体への助成

団 体 名	酒田市地区 からの助成額	山形県支部 からの助成額	主な活動
酒田市赤十字奉仕団	—	110,000 円	地域奉仕活動等
酒田市本楯赤十字奉仕団	—	110,000 円	清掃ボランティア等

(5) 青少年赤十字加盟校に対する衛生用品の配布

令和3年度から実施している青少年赤十字加盟校への衛生用品配付について、令和7年度においても、健康な学校生活を送れるよう、必要とする衛生用品（マスク・ペーパータオル等）を希望する学校へ現物支給しました。

（小学校1校、高校1校）

(6) 献血実施状況

確保目標	(人)	受付 (人)	採血 (人)	達成率 (%)
200 ml	3	10	9	—
400 ml	1,942	2,235	2,064	—
—	777,400ml	—	827,400ml	106.4%

(7) 災害救護活動用器材（自動ラップ式簡易トイレ）交付

令和7年11月18日に、「もっとクロス！やまがた」開催時に、災害救護活動器材として、自動ラップ式簡易トイレの交付を受けました。

(8) その他の活動

- ・弔詞奉呈事業資材（ローソク）の配布 随時
- ・屋内テント及び野外炊飯器の貸し出し コミュニティ振興会5地区
- ・第15回赤十字関係者の集い「もっとクロス！やまがた」
令和7年11月18日（火）午後3時30分 会場：山形国際ホテル

4. 福祉サービス利用援助事業

福祉サービス利用援助事業 (1) 相談内容別件数

相談内容／相談件数	R7	R6	R5	R4
福祉サービスの手續援助	34	16	18	31
金銭管理	851	836	705	844
書類等預かり	23	29	1	15
保健サービス	1	0	0	0
医療機関	12	0	0	13
福祉サービス苦情	0	0	0	1
生活設計	80	15	73	66
本事業関係	100	126	171	231
成年後見制度に関する相談	52	5	20	17
その他	19	36	18	24
合 計	1,172	1,063	1,006	1,242

(2) 契約内容別件数

・契約種別件数

継 続	136	136	135	139
新 規	29	28	29	29
解 約	19	31	26	33
計	146	133	138	135

・契約者状況別件数

認知症等高齢者	71	65	70	71
精神障がい者	26	39	35	32
知的障がい者	38	24	22	25
その他	11	9	11	7
計	146	137	138	135

・世帯類型別件数

在宅独居	32	40	42	37
在宅同居	25	24	21	21
医療機関	9	12	12	14
老人保健施設	5	5	5	8
特別養護老人ホーム	7	0	1	3
グループホーム	30	26	25	25
ケアハウス	5	5	7	7
有料老人ホーム	14	12	12	10
その他	19	12	13	10
計	146	136	138	135

・援助内容別件数(延べ件数)

福祉サービス利用援助	146	139	138	135
日常的金銭管理サービス	146	139	138	135
書類等預かりサービス	145	138	137	133
計	437	416	413	403

・解約事由別件数

成年後見制度利用	2	8	7	5
施設入所・移行	1	1	11	4
死亡	12	15	0	17
親族への移行	0	1	2	1
本人へ返却	4	6	6	6
その他	0	0	0	0
計	19	31	26	33

5. 成年後見事業

民法に定められた成年後見制度で、山形家庭裁判所酒田支部からの成年後見事案について法人として後見人等の受任を行うもの。

加齢や障がいなどにより判断能力が低下した者の契約手続きなど、法律行為を代理し本人の権利を擁護する事業。

・業務審査委員会及び受任検討委員会開催状況

令和 7 年 4 月 30 日（水） 第 1 回受任検討委員会 事案 1 件

令和 7 年 12 月 16 日（火） 第 2 回受任検討委員会 事案 1 件

令和 8 年 3 月 27 日（金） 成年後見業務審査委員会

・受任状況

	件数合計	補助	保佐	後見
令和 7 年度新規受任件数	1	0	0	1
終了件数	3	0	1	2
現在受任件数	16	2	3	11

6. 低所得者支援

生活困窮者自立相談支援事業（生活自立支援センター）

新規相談受付数（人）	酒田市	庄内町	遊佐町
男 性	91	2	5
女 性	79	2	2
合 計	170	4	7

年齢層（人）	酒田市	庄内町	遊佐町
～10 代	1	0	0
20 代	20	0	1
30 代	26	2	0
40 代	26	0	2
50 代	37	2	2
60～64 歳	10	0	0
65 歳以上	45	0	2
不明	5	0	0
合 計	170	4	7

相談対応（延）	酒田市	庄内町	遊佐町
来所面談	542	3	4
訪問	177	7	11
電話・連絡	1,649	39	101
同行	166	2	18
メール等	169	0	5
合 計	2,703	51	139

相談内容（延）	酒田市	庄内町	遊佐町
病気、健康、障がい	464	0	43
住まい	218	2	10
収入・生活費	1,429	21	27
家賃・ローン	156	3	0
税金・公共料金	96	1	1
債務	277	9	1
仕事探し・就職	610	22	87
地域との関係	15	0	0
家族関係	226	0	15
ひきこもり・不登校	19	0	0
D V	8	0	0
食べるものがない	117	0	0
虐待	6	0	0
介護	23	0	0
教育資金	241	0	0
子育て	18	0	0
ゴミ屋敷	3	0	0
ペット	2	0	0
ギャンブル・ドラッグ・お酒	20	0	0
その他	188	1	0
生活福祉資金に関する事	659		
合 計	4,795	59	184

支援調整会議	酒田市	庄内町	遊佐町
支援調整会議開催数（回）	8	2	2
新規支援プラン数	29	0	2
支援継続プラン数	1	0	0
支援プラン終結数	18	4	1

就労支援状況（人）	酒田市	庄内町	遊佐町
就職決定者	27	5	1
増収した者	7	1	0

フードバンク	酒田市	庄内町	遊佐町
食品提供者（人）	217	0	0

生活福祉資金貸付事業

資金種別	受付件数	決定件数	備 考
総合支援資金	0	0	
福祉資金福祉費	4	4	
緊急小口資金	4	3	1件不受理
教育支援資金	15	14	1件不受理、1件決定後辞退
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	0	0	

たすけあい資金貸付事業

貸付件数	貸付額	返済件数 (過年度含)	返済額
69 件	1,787,706 円	155 件	1,797,476 円

7. ボランティア等市民活動の振興と支援

(1) ボランティア・公益活動推進委員会の開催

○第1回（5月26日）

- ・令和6年度事業の報告および令和7年度事業の計画（案）について

○第2回（10月20日）

- ・令和8年度酒田市公益活動団体協働提案負担金事業の採択について
- ・今年度施策進捗報告および協議

○第3回（2月12日）

- ・令和7年度公益活動施策進捗状況報告および令和8年度活動計画（案）

(2) ボランティア・公益活動に関する普及・啓発、人材育成、交流等

○主催事業

- ・「あなたのボランティア魂に灯をつける!!かもしれない!?夏のボランティア体験2025」事前説明（7月22日～26日、28日～31日）・参加者119名、ボランティア体験（7月26日～8月30日）・参加申込者128名
※うち学習会のみ8名、参加団体・施設50（52プログラム）
- ・酒田市こども食堂エピソード共有公開ワークショップ（12月6日）・参加者42名
- ・公益活動支援補助制度説明会（2月21日）・参加者13名
- ・「しりあう・つながる・何か生まれる!!かもしれない!?交流会～ボランティア・市民活動交流会～」（2月21日）・参加者35名、参加団体15

○共催、参加事業

- ・酒田市社会福祉協議会主催
酒田日和山公園桜まつり開催期間中の車いす無料貸出し（4月4日～15日11時～15時）・利用者10名、貸出ボランティア22名 ※うち雨天のため7日間中止
- ・東北公益文科大学、酒田市社会福祉協議会主催
「ボランティアコーディネーション力3級検定」事前学習会（8月18日）、直前研修、検定試験（9月21日）、事後学習会（9月29日）・受験者19名
- ・酒田市文化芸術推進プロジェクト会議、酒田市主催
いいいろいろ展（障がい者アート展）（9月19日～9月25日）・来場者1,042名
- ・NPO法人やまがた絆の架け橋ネットワーク主催
NPO・市民活動なんでも相談会①（11月17日）・2名参加
NPO・市民活動の立ち上げと法人化講座（12月12日）・10名参加
NPO法人の解散の方法講座（12月13日）・3名参加
NPO・市民活動なんでも相談会②（12月16日）・9名参加
助成金紹介講座（1月16日）・8名参加
NPO・市民活動なんでも相談会③（1月22日）・2名参加
NPO・市民活動の人とお金の増やし方講座（2月8日）・3名参加
NPO・市民活動なんでも相談会④（2月16日）・1名参加

- ・日向地域支え合い活動実行委員会主催

日向ささえあい除雪ボランティア（1月24日、2月14日）・・1月24日参加者32名、2月14日参加者58名

○相談、活動のコーディネート

ボランティア・市民活動に関すること（ボランティアをしたい、ボランティアを探している等）、団体の活動周知に関すること、補助金に関すること、ボランティア活動保険に関することなどの相談を、電話、窓口、メールなどで受け、随時コーディネートを行った。

（3）ボランティア・公益活動に関する情報発信

- ・ボランティア・公益活動センターだより 9回 各約650部発行
- ・ホームページやInstagramを活用して、最新情報を随時発信
- ・メール・FAXでの情報送信 登録団体・登録者へ

（4）市よりの受託事業

○ボランティア・公益活動センター業務

- ・公益活動支援補助金・・相談、申請受付、審査会開催など
- ・ボランティア・公益活動団体の紹介ブックレット発行

○福祉の担い手育成事業

- ・高齢者疑似体験事業 市内の小学校7校 11回実施
- ・障がい者交流体験事業 市内の中学校1校 1回実施

○手話奉仕員育成事業

- ・手話教室の実施

手話奉仕員養成講座 全40回 参加者 24名（うち8名修了）

ステップアップ講座 全20回 参加者 9名

○元気シニアボランティア事業

対象地区 琢成・松陵・浜田・若浜・亀ヶ崎・松原・港南・富士見・泉・新堀・広野・黒森・十坂・浜中・宮野浦・鳥海・西荒瀬・平田・一條・八幡・松山・南平田・田沢
登録者 93名

（5）ボランティア保険加入手続き

ボランティア活動等を行う市民の皆様が安心して活動を実施するために、全国社会福祉協議会が一括で損害保険会社と契約する保険の取りまとめ窓口として、受付事務を行いました。

(酒田支部、ボランティアさかた)	団体数	個人	合計人数	前年度
ボランティア活動保険	47	43	2,680	2,868
ボランティア行事用保険	5	0	延べ894	延べ555
福祉サービス総合補償	3	0	1,188	925
送迎サービス補償	1	0	延べ250	延べ500
社協サロン保険	0	0	0	0

(八幡支部)	団体数	個人	合計人数	前年度
ボランティア活動保険	1	0	21	347
ボランティア行事用保険	0	0	0	59
福祉サービス総合補償	0	0	0	0
送迎サービス補償	0	0	0	0
社協サロン保険	0	0	0	0

(松山支部)	団体数	個人	合計人数	前年度
ボランティア活動保険	3	0	68	59
ボランティア行事用保険	0	0	0	0
福祉サービス総合補償	0	0	0	0
送迎サービス補償	0	0	0	0
社協サロン保険	0	0	0	0

(平田支部)	団体数	個人	合計人数	前年度
ボランティア活動保険	4	1	112	546
ボランティア行事用保険	1	0	20	0
福祉サービス総合補償	0	0	0	0
送迎サービス補償	0	0	0	0
社協サロン保険	0	0	0	75

	団体数	個人	合計人数	前年度
総 合 計	65	44	5,233	5,934

8. 災害対策の実施

災害時の対応と災害に備えたボランティア活動

○災害ボランティア活動の実施

- ・令和6年7月25日からの大雨災害で被災された世帯に対して、酒田市被災者生活支援・地域支えあいセンターの調整により引き続きボランティアによる支援活動を実施しました。
- ・活動実績（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

ボランティアニーズ（依頼実数）	ボランティア派遣（参加延べ人数）
6件	48名

○被災地支援活動

- ・仙北市へのボランティアバスの運行

令和7年8月19日からの大雨災害で被害を受けた秋田県仙北市が設置した災害ボランティアセンターでの活動に対し、ボランティアバスの運行を実施。仙北市災害センターの求めに応じて、令和7年9月4日（木）にボランティア7名、職員2名を現地での活動につなげました。

9. 酒田市被災者生活支援・地域支え合いセンターによる訪問等活動

・訪問対象世帯（単位：世帯）

区分	みなし仮設	在宅	公営住宅等	合計
令和7年4月	7	212	37	256
令和7年5月	7	215	34	256
令和7年6月	7	219	30	256
令和7年7月	7	222	27	256
令和7年8月	7	222	27	256
令和7年9月	7	222	27	256
令和7年10月	7	223	26	256
令和7年11月	7	222	26	255
令和7年12月	7	223	24	254
令和8年1月	7	223	23	253
令和8年2月	7	223	23	253
令和8年3月	7	222	23	252

※訪問対象世帯は、主に準半壊以上の被災世帯

・訪問等件数（単位：件）

区分	訪問	電話	来所	その他	合計
令和7年4月	143	9	0	6	158
令和7年5月	164	15	2	2	183
令和7年6月	158	24	1	6	189
令和7年7月	212	10	1	2	225
令和7年8月	124	5	0	2	131
令和7年9月	135	5	0	0	140
令和7年10月	136	3	1	0	140
令和7年11月	100	2	1	0	103
令和7年12月	117	0	1	2	120
令和8年1月	154	2	0	0	156
令和8年2月	120	3	0	0	123
令和8年3月	121	0	0	1	122
合計	1,684	78	7	21	1,790

※令和6年度は、令和6年11月から令和7年3月まで

・相談内容（単位：件）

相談内容	越冬	家族関係	経済面	居住関係 （仮設）	居住関係 （再建）	就労関係	介護・ 福祉関係	健康・ 医療関係	その他	要望なし	合計
令和7年4月	0	3	6	4	39	1	4	31	23	23	134
令和7年5月	0	4	6	0	47	0	0	34	32	34	157
令和7年6月	0	6	7	4	56	0	3	29	29	38	172
令和7年7月	0	6	6	3	31	0	5	27	36	58	172
令和7年8月	0	3	0	1	13	0	0	9	14	48	88
令和7年9月	0	2	0	0	13	0	1	18	17	47	98
令和7年10月	0	2	0	1	13	0	1	8	13	73	111
令和7年11月	0	1	1	0	11	0	1	10	14	46	84
令和7年12月	3	1	1	1	9	0	0	6	11	57	89
令和8年1月	0	0	3	0	8	0	1	13	11	71	107
令和8年2月	0	2	2	2	9	2	13	2	14	33	79
令和8年3月	1	0	1	0	13	0	0	7	8	50	80
合計	4	30	33	16	262	3	29	194	222	578	1,371

・ふるさとカフェ等開催実績（単位：回・人）

	西荒瀬地区		八幡地区		松山地区		市街地・その他		合計	
	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数
令和7年4月			3	66	1	17	1	5	5	88
令和7年5月			2	37	1	16			3	53
令和7年6月			3	59	1	17			4	76
令和7年7月			2	65	1	18	1	10	4	93
令和7年8月			2	28					2	28
令和7年9月			2	26	1	15			3	41
令和7年10月			2	21	1	13			3	34
令和7年11月			3	40	1	13			4	53
令和7年12月			3	43	1	13			4	56
令和8年1月			3	50	1	15			4	65
令和8年2月	1	14	3	51	1	15			5	80
令和8年3月	1	14	2	50	1	16	1	19	5	99
合計	2	28	30	536	11	168	3	34	46	766

・見守り区分（単位：世帯・％）

区分	A：重点訪問		B：定期訪問		C：不定期訪問		D：訪問の必要なし		未訪問・調査中等		合計	
	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比
令和7年4月	45	17.6	96	37.5	50	19.5	2	0.8	63	24.6	256	100.0
令和7年5月	40	15.6	101	39.5	54	21.1	2	0.8	59	23.0	256	100.0
令和7年6月	39	15.2	116	45.3	71	27.7	14	5.5	16	6.3	256	100.0
令和7年7月	32	12.5	125	48.8	74	28.9	16	6.3	9	3.5	256	100.0
令和7年8月	27	10.5	126	49.3	79	30.9	17	6.6	7	2.7	256	100.0
令和7年9月	24	9.4	128	50.0	80	31.3	17	6.6	7	2.7	256	100.0
令和7年10月	24	9.4	126	49.5	83	32.5	17	6.7	6	2.4	256	100.0
令和7年11月	23	9.1	126	49.6	84	33.1	16	6.3	6	2.4	255	100.0
令和7年12月	23	9.1	126	49.7	84	33.2	16	6.3	5	2.0	254	100.0
令和8年1月	24	9.5	124	49.0	84	33.2	16	6.3	5	2.0	253	100.0
令和8年2月	24	9.5	124	49.2	84	33.3	16	6.3	5	2.0	253	100.0
令和8年3月	24	9.5	124	49.2	84	33.3	16	6.3	4	1.6	252	100.0

※訪問頻度の目安 A：1か月以内に再訪問 B：2～3か月以内に再訪問 C：3～4か月以内に再訪問 ただし、支援状況を見て変更もありうる。

・再建支援区分（単位：世帯・％）

区分	再建可能世帯		日常生活支援世帯		住まいの再建支援世帯		日常生活・住まいの		未判定		合計	
	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比
令和7年4月	103	40.2	15	5.9	44	17.2	17	6.6	77	30.1	256	100.0
令和7年5月	154	60.2	17	6.6	53	20.7	18	7.0	14	5.5	256	100.0
令和7年6月	177	69.2	17	6.6	32	12.5	18	7.0	12	4.7	256	100.0
令和7年7月	193	75.4	8	3.1	32	12.5	12	4.7	11	4.3	256	100.0
令和7年8月	212	82.8	12	4.7	27	10.5	5	2.0	0	0.0	256	100.0
令和7年9月	221	86.3	9	3.5	22	8.6	4	1.6	0	0.0	256	100.0
令和7年10月	224	87.8	9	3.5	19	7.5	4	1.6	0	0.0	256	100.0
令和7年11月	223	87.8	9	3.5	19	7.4	4	1.6	0	0.0	255	100.0
令和7年12月	232	91.7	5	2.0	15	5.9	2	0.8	0	0.0	254	100.0
令和8年1月	231	91.3	5	2.0	15	5.9	2	0.8	0	0.0	253	100.0
令和8年2月	231	91.7	5	2.0	15	6.0	2	0.8	0	0.0	253	100.0
令和8年3月	236	93.7	6	2.4	9	3.6	1	0.4	0	0.0	252	100.0

* 再建支援区分について

再建可能世帯：住まいの再建に課題がなく、日常生活においても特に大きな問題が見られない世帯

日常生活支援世帯：健康面に課題があるなど、日常生活において継続的な支援が必要な世帯

住まいの再建支援世帯：住まいの再建方針が未定であったり、資金面などに課題がある世帯

日常生活・住まいの再建支援世帯：住まいの再建に加え、日常生活においても支援が必要な世帯

10. 権利擁護・成年後見センターの運営

相談件数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数（初回）	17	10	10	9	13	19	78
相談件数（継続）				71	98	124	293
合計	17	10	10	80	111	143	371

対象者 障害区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認知高齢者（初回）	6	6	6	6	7	12	43
認知高齢者（継続）				33	44	53	130
知的障がい者（初回）	4	2	0	1	1	2	10
知的障がい者（継続）				9	18	29	56
精神障がい者（初回）	4	1	1	2	1	1	10
精神障がい者（継続）				27	33	30	90
不明・その他（初回）	3	1	3	0	4	4	15
不明・その他（継続）				2	3	12	17
合計	17	10	10	80	111	143	371

※1月から統計の方法を変更。継続の相談件数もカウント開始。

※初回：初めてセンターに入った相談 ※継続：2回目以降の相談

対応方法別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	16	8	8	59	82	88	261
来所	0	1	2	0	8	11	22
訪問	0	1	0	17	20	36	74
メール	0	0	0	0	0	0	0
ホームページ	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	0	4	1	8	14
合計	17	10	10	80	111	143	371

相談者区分別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本人	0	0	1	35	41	56	133
親	1	1	0	0	1	1	4
子	2	2	1	1	3	4	13
配偶者	0	0	0	0	2	0	2
兄弟姉妹	0	0	1	0	3	3	7
親類	1	2	0	0	4	4	11
隣人・知人	0	0	0	1	4	1	6
ホームヘルパー	0	0	0	0	0	1	1
民生委員	1	0	1	1	0	0	3
介護支援専門員	3	2	0	6	15	19	45
障がい者相談支援機関	3	2	0	3	11	18	37
地域包括支援センター・在宅介護支援	1	0	2	8	4	7	22

センター							
福祉施設	0	0	0	9	6	12	27
行政（福祉事務所）	2	1	1	6	10	18	38
医療機関	1	0	3	6	2	3	15
市町村社協	2	0	0	3	3	2	10
その他	0	0	0	4	4	6	14
合計	17	10	10	83	113	155	388

後見人等受任調整

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
権利擁護支援検討会議	0	0	1	2	0	3	6
合計	0	0	1	2	0	3	6

検討会議にかけられた案件の状況

種別	件数
高齢者	6
障がい者	0
合計	6

類型別	件数
後見	3
保佐	2
補助	1
未定	0
合計	6

受任調整先	件数
県弁護士会	0
リーガル	2
ばあとなあ	4
市社協	0
保留	0
合計	6

1 1. 避難者生活相談支援事業

令和 7 年度 避難者生活相談支援事業 会議・交流会等

令和 8 年 3 月 3 1 日

4 月	15(火)こんにちわサロン with 避難者相談会
5 月	20(火)こんにちわサロン with 避難者相談会 28(水)第 110 回支援者のつどい (山形市参加) こんにちわだより発行 (高齢者・移住・子育て世帯別)
6 月	11(水)ビーンズふくしま「第 1 回わたし×子育て なんでも相談会」開催 (NPO 法人ビーンズふくしま主催：酒田市社会福祉協議会) 17(火)こんにちわサロン with 避難者相談会 24(火)第 1 回酒田市避難者生活相談支援事業連絡会議 (酒田市役所)
7 月	6(日)山形市交流相談会(オンライン参加) 15(火)こんにちわサロン with 避難者相談会 30(水)やまがた避難者支援協働ネットワーク意見交換会・第 111 回支援者のつどい (山形市:オンライン参加) こんにちわだより発行 (高齢者・移住・子育て世帯別)
8 月	4(月) ビーンズふくしま「第 2 回わたし×子育て なんでも相談会」開催 (NPO 法人ビーンズふくしま主催：酒田市社会福祉協議会) 19(火)こんにちわサロン with 避難者相談会 27(水) 第 1 回被災者生活支援調整会議 (山形市：オンライン会議参加)
9 月	16(火)こんにちわサロン with 避難者相談会
10 月	21(火)こんにちわサロン with 避難者相談会 23(木)「心のケア」福島・山形・新潟三県合同研修会及び情報交換会・第 112 回支援者のつどい (山形市：オンライン会議参加)
11 月	13(木)東日本大震災に伴う避難世帯への全戸訪問の打ち合わせ (酒田市役所) 18(火)こんにちわサロン with 避難者相談会 26(水)「避難者交流会」開催 こんにちわだより発行 (全戸訪問) 全戸訪問活動
12 月	9(火) ビーンズふくしま「第 3 回わたし×子育て なんでも相談会」開催 (NPO 法人ビーンズふくしま主催：酒田市社会福祉協議会) 16(火)こんにちわサロン with 避難者相談会 全戸訪問活動
1 月	20(火)こんにちわサロン with 避難者相談会 こんにちわだより発行 (高齢者・移住・子育て世帯別)
2 月	6(金)全戸訪問に関する置賜地域情報交換会 (都合により置賜地域にオンラインで参加) 17(火) ビーンズふくしま「第 4 回わたし×子育て なんでも相談会」開催 (NPO 法人ビーンズふくしま主催：酒田市社会福祉協議会) 17(火)こんにちわサロン with 避難者相談会 18(水)一般社団法人 JAST「昭和歌謡交流会～歌のチカラでつながろう～」開催 (一般社団法人 JAST 主催：酒田市社会福祉協議会) 25(水) 第 2 回被災者生活支援調整会議・第 113 回支援者のつどい (山形市：オンライン会議参加) 26(木)第 2 回酒田市避難者生活相談支援事業連絡会議 (酒田市役所)
3 月	6(金)親と子のサポートセンターふくしま県外支援者研修会 (オンライン会議参加) 11(水)岩手生活支援相談員活動研究会(オンデマンド研修) 17(火)こんにちわサロン with 避難者相談会

避難者生活相談支援事業活動

月		コンタクト方法									のべ 人数	合計
		訪問	電話	来所	他機関 つなぎ	避難者 サロン	地域 サロン	地域関 係構築	関係機 関支援 調整	郵送 メール		
4	避難者	3	6	5	1	1	0	0	0	3	19	52
	支援者	0	14	3	0	0	0	0	4	12	33	
5	避難者	29	6	3	1	1	0	0	0	4	44	78
	支援者	1	17	1	0	1	0	0	2	12	34	
6	避難者	3	6	5	0	1	0	0	2	14	31	74
	支援者	0	16	5	0	1	0	0	11	10	43	
7	避難者	30	4	5	1	1	0	0	0	4	45	76
	支援者	0	21	1	0	1	0	0	1	7	31	
8	避難者	1	3	5	2	1	0	0	0	4	16	39
	支援者	0	8	3	2	2	0	0	0	8	23	
9	避難者	0	0	4	0	1	0	0	0	10	15	29
	支援者	0	5	0	0	1	0	0	0	8	14	
10	避難者	5	1	5	0	1	0	0	0	4	16	47
	支援者	1	10	0	1	1	0	0	3	15	31	
11	避難者	32	13	4	7	1	0	0	0	9	66	107
	支援者	6	17	2	7	1	0	0	1	7	41	
12	避難者	20	20	5	4	1	0	0	0	18	68	116
	支援者	4	19	1	4	0	0	0	0	20	48	
1	避難者	16	2	4	0	1	0	0	0	12	35	50
	支援者	2	8	0	0	0	0	0	0	5	15	
2	避難者	0	7	5	0	1	0	0	0	2	15	34
	支援者	0	9	3	0	2	0	0	3	2	19	
3	避難者	2	5	4	0	1	0	0	0	23	35	52
	支援者	0	11	0	0	0	0	0	0	6	17	

12. 相談事業

■心配ごと相談

相談内容	件数
家族に関する相談	5
生計に関する相談	0
住宅に関する相談	1
その他	3
合 計	9
前年度計	4

13. 広報活動、顕彰、慰霊事業

(1) 広報活動

酒田市社協会報「ふれあい」の発行

号 頁	63号 (R7.7.1 発行)	64号 (R7.10.1 発行)	65号 (R8.3.1 発行)
表 紙	・ ふるさとカフェ	・ 赤い羽根共同募金助成事業	・ ふるさとカフェ
2	・ 社協の相談窓口（福祉サービス利用援助・成年後見、避難者支援、心配ごと、ボランティア、地域福祉活動、生活自立支援センター、被災者生活支援・地域支え合いセンター）	・ 赤い羽根共同募金活動（令和7年度助成先の紹介、令和8年度助成先募集、歳末たすけあい色紙展）	・ 成年後見制度の紹介 ・ 権利擁護・成年後見センターの活動報告
3	・ 酒田市防災ガイド		
4	・ 令和7年度新規事業（予定）および主要事業の紹介（権利擁護・成年後見センター、新草の根事業）	・ 権利擁護・成年後見センター開設の紹介	・ 令和7年度福祉関係表彰受賞者の紹介
5	・ 令和7年度予算 ・ 社協会費、日赤会費	・ 学区・地区社協活動の紹介（富士見学区、山寺地区）	
6	・ ふくし出前講座・ふくし共育出前講座の紹介	・ 令和6年度決算報告 ・ 評議員・理事・監事紹介	・ PHOTO 社協 （災害ボランティアセンター研修会、震災避難者交流会、県民福祉大会酒田大会、こども食堂エピソード共有公開ワークショップ）

7	・お知らせ（赤い羽根共同募金助成先の募集、会報発行日変更のお知らせ等） ・市民後見人養成研修の募集 ・ご寄付ご寄贈の報告	・お知らせ（義援金の受付） ・相談窓口（生活自立支援センター） ・会費の協力への御礼 ・ご寄付ご寄贈の報告	・お知らせ（ボラ活動保険の受付、義援金の受付等） ・相談窓口（生活自立支援センター） ・ご寄付ご寄贈の報告
8	・PHOTO 社協（ふれあい給食指導講習会、社会福祉士実習報告会、桜まつり車いす貸出、福祉サービス利用援助）	・PHOTO 社協（地域子育て支援事業、福祉協力員研修、ふるさとカフェ、夏のボランティア体験）	・赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金への協力法人等の紹介
9			
10			
11			
12			・（裏表紙）赤い羽根共同募金の説明、協力への感謝

（２） 顕彰事業

令和 7 年度酒田市社会福祉協議会表彰式

- 日 時 令和 7 年 11 月 6 日（木） 午前 10 時～
- 場 所 酒田市地域福祉センター 大会議室
- 表彰者 社会福祉協議会活動 5 名
民生委員・児童委員活動 2 名
老人クラブ活動 1 名
身体障がい者福祉活動 1 名
遺族会活動 3 名
福祉協力員活動 7 名 計 19 名
- 感謝状 自立支援活動 2 名
ふれあい給食調理ボランティア活動 8 名
多額の寄付 1 団体 計 10 名 1 団体

令和 7 年度山形県・県民福祉大会表彰式

- 日 時 令和 7 年 11 月 28 日（金）午後 1 時～
- 場 所 酒田市民会館「希望ホール」
- 表彰者 ・県知事表彰
民生委員・児童委員功労者 13 名
社会福祉事業従事者 7 名
民生委員・児童委員の配偶者（感謝状） 4 名
・大会会長表彰
民生委員・児童委員功労者 12 名
一般社会福祉事業関係功労者 7 名

(3) 戦没者追悼式の開催

令和 7 年度酒田市戦没者追悼式

○日 時 令和 7 年 7 月 10 日 (木) 午前 10 時～11 時

○場 所 酒田市地域福祉センター 大会議室

○参列者 88 名

14. ふくし出前講座・ふくし共育出前講座実施状況

	開催日	申込団体	講座実施（講師派遣）法人	講座内容
1	令和7年4月22日	亀ヶ崎コミュニティ振興会	平田厚生会	19「栄養講話」
2	令和7年5月14日	まつばらスマイル学級	山形県社会福祉事業団	12「ミュージックケア」
3	令和7年5月17日	全国要約筆記問題研究会山形県支部	明松会	13 障がいへの理解～障がいて何だろう～
4	令和7年6月3日	亀ヶ崎コミュニティ振興会	山形県社会福祉事業団	12「ミュージックケア」
5	令和8年6月9日	亀ヶ崎六丁目偕老クラブ	山形県社会福祉事業団	12「ミュージックケア」
6	令和7年7月17日	広野学区社会福祉協議会	幾久栄会	1「介護予防でいつまでも元気に！」
7	令和7年8月8日	本間病院友の会	山形県社会福祉事業団	12「ミュージックケア」
8	令和7年9月5日	泉学区社会福祉協議会	さくら福祉会	7「介護保険で利用できる福祉施設について」
9	令和7年10月7日	酒田市役所平田総合支所	酒田市社会福祉協議会	16「障がいや認知症があっても安心して暮らすために」
10	令和7年10月21日	北平田コミュニティ振興会	酒田市社会福祉協議会	16「障がいや認知症があっても安心して暮らすために」
11	令和7年10月22日	みずほ桜会（みずほ1丁目自治会）	友和会	21「健康講座」
12	令和7年11月8日	地域包括支援センターまつやま	山形県社会福祉事業団	12「ミュージックケア」
13	令和7年11月20日	地域包括支援センターまつやま	山形県社会福祉事業団	12「ミュージックケア」
14	令和7年11月25日	亀2カフェ（亀ヶ崎二丁目自治会）	山形県社会福祉事業団	12「ミュージックケア」
15	令和7年11月26日	友和会	酒田市社会福祉協議会	16「障がいや認知症があっても安心して暮らすために」
16	令和7年11月27日	東陽コミュニティ振興会	酒田市社会福祉協議会	16「障がいや認知症があっても安心して暮らすために」
17	令和7年12月11日	笹山サロン（笹山自治会）	酒田市社会福祉協議会	16「障がいや認知症があっても安心して暮らすために」
18	令和8年1月8日	第9民児協	酒田市社会福祉協議会	16「障がいや認知症があっても安心して暮らすために」
19	令和8年1月16日	広野学区社会福祉協議会	酒田市社会福祉協議会	16「障がいや認知症があっても安心して暮らすために」
20	令和8年1月27日	亀ヶ崎コミュニティ振興会	平田厚生会	24「介護の壺（ちょこっと介護術）」
21	令和8年1月31日	酒田健康生活協同組合	幾久栄会	1「介護予防でいつまでも元気に！！」
22	令和8年2月28日	酒田市職員労働組合退職者会	友和会	22「老化を防ぐ食事と栄養」
23	令和8年3月3日	亀ヶ崎コミュニティ振興会	山形県社会福祉事業団	12「ミュージックケア」
24	令和8年3月6日	西荒瀬社会福祉協議会	酒田市社会福祉協議会	16「障がいや認知症があっても安心して暮らすために」

15. 法人運営、施設運営

(1) 社協会費の状況

	社協会費				寄付金	合計
	個人会費	団体会費	特別会費	計		
7年度	27,360件	59件	318件	27,737件	49件	27,786件
	13,491,200円	182,000円	477,000円	14,150,200円	2,441,883円	16,592,083円
6年度	27,530件	60件	315件	27,905件	48件	27,953件
	13,765,000円	184,000円	472,000円	14,421,000円	3,071,973円	17,492,973円

(1) 酒田市地域福祉センター

区分 月	貸 館 利 用 数						1日 平均	開館 日数
	有 料		無 料		合 計			
	件	人	件	人	件	人	人	日
4	0	0	65	843	65	843	28	30
5	0	0	86	1,019	86	1,019	33	31
6	0	0	73	898	73	898	30	30
7	0	0	75	1,039	75	1,039	34	31
8	0	0	69	784	69	784	25	31
9	0	0	70	963	70	963	32	30
10	0	0	81	928	81	928	30	31
11	0	0	85	1,001	85	1,001	33	30
12	0	0	87	1,147	87	1,147	41	28
1	0	0	55	615	55	615	22	28
2	0	0	79	1,075	79	1,075	38	28
3	0	0	92	1,033	92	1,033	33	31
合計	0	0	917	11,345	917	11,345	32	359
前年度合計	0	0	888	10,719	888	10,719	30	359

１６．酒田市福祉バス・日赤福祉バス運行状況

(1)酒田市福祉バス運行状況

運行日数	46 日	内 訳	市 内	380 人 (14回)
運行回数	46 回		庄 内	368 人 (12回)
総利用人数	1,328 人		県 内	429 人 (15回)
			県 外	151 人 (5回)

種別 月	研修会	施設視察	学習会 交流会	送 迎	大会総会	レクリエ ーション	訓 練 リハビリ	園外保育	合 計
4				1					1
5								1	1
6	2								2
7	4			1					5
8	7								7
9	3			1	1			1	6
10	9		1		1				11
11	2		1	1				2	6
12				2				1	3
1								1	1
2				1	1				2
3			1						1
計	27	0	3	7	3	0	0	6	46
前年度計	29	1	1	10	5	0	0	6	52

(2)酒田市日赤福祉バス運行状況

運行日数	124 日	内 訳	市 内	1,151 人 (71回)
運行回数	124 回		庄 内	417 人 (26回)
総利用人数	1,954 人		県 内	318 人 (22回)
			県 外	68 人 (5回)

種別 月	研修会	施設視察	学習会 交流会	送 迎	大会総会	レクリエ ーション	訓 練 リハビリ	園外保育	合 計
4				6					6
5	2		1	5	3				11
6	3	1		5				3	12
7	9			4	2			1	16
8	6		1	2	2			1	12
9	5			4	2				11
10	9		2	3	1			1	16
11	6		1	8				2	17
12	1			5				2	8
1	1			3	1			1	6
2				3	1				4
3	2		1	1	1				5
計	44	1	6	49	13	0	0	11	124
前年度計	30	0	1	44	11	0	0	6	92

(3) 令和7年度 団体別福祉バス・日赤福祉バス利用状況

単位: 日・人

団 体 名	福祉バス		日赤福祉バス	
	利用日数	人数	利用日数	人数
身 体 障 害 者 福 祉 団 体	0	0	19	235
老 人 ク ラ ブ	2	63	6	110
民生児童委員協議会連合会	3	74	8	135
母 子 寡 婦 福 祉 会	1	32	1	10
連 合 婦 人 会	0	0	0	0
遺 族 会	2	65	4	70
酒 田 市 役 所	2	62	12	177
法 人 保 育 園	6	201	11	203
自治会連合会・各自治会	2	50	13	200
学区社協・コミュニティ振興会	16	462	23	354
学 童 保 育	5	135	5	81
手 を つ な ぐ 育 成 会	0	0	2	22
保護司会・更生保護女性会	2	53	1	10
市 社 会 福 祉 協 議 会	1	20	15	301
高齢者福祉生活協同組合	3	82	0	0
食生活改善推進委員会	0	0	1	12
障 が い 者 施 設 ・ 団 体	0	0	3	34
そ の 他	1	29	0	0
合 計	46	1,328	124	1,954
前 年 度 計	52	1,606	92	1,537